

御嶽山防災訓練（長野県）における活動報告

○ 活動の概要	
派遣エキスパート	杉本 伸一（火山防災エキスパート）
派遣先	平成 29 年度御嶽山火山防災訓練
派遣日	平成 29 年 12 月 21 日（木）
場所	長野県木曾合同庁舎
参加者	御嶽山火山防災協議会（長野県側）関係機関 約 40 名

【活動概要】

- 御嶽山火山防災協議会（長野県側）が開催した「御嶽山火山防災訓練」に講師として火山防災エキスパートの杉本委員が参加した。
- 訓練は、ロールプレイング型の訓練となっており、想定がことなる 2 部構成である。1 部は、「御嶽山の異変を発見した人から通報があり、その後噴火警戒レベル 2 に引き上げ」を想定としている。2 部では、「噴火警戒レベル 2 から噴火警戒レベル 3（噴火の発生）」を想定して行われた。
- 訓練では、噴火警戒レベル引上げ、噴火発生等において各機関が対応すべきことのチェック、噴火警戒レベル引上げ等における連絡体制・情報共有体制のチェック、長野県防災情報システムの使用法の習熟、訓練の反省を基に御嶽山火山防災計画の見直しなどを目的に行われた。
- 参加者は、機関ごとにグループを組み、携帯電話や防災情報システムを使って、付与される情報を関係機関に共有したり、対応を検討した。
- 杉本委員には、これまでの噴火対応や火山防災への取組の経験から、訓練についての講評や、今後の訓練のあり方などについて助言などを行っていただいた。

【訓練概要】

1. 訓練の目的

- 噴火警戒レベル引上げ等の場面において、各機関の御嶽山火山防災計画に定める防災対応を確認し、関係機関相互の情報伝達・連携体制の向上を図ることを目的に行われた。

2. 訓練プログラム

- 訓練プログラムは、以下のとおり。

<訓練プログラム>

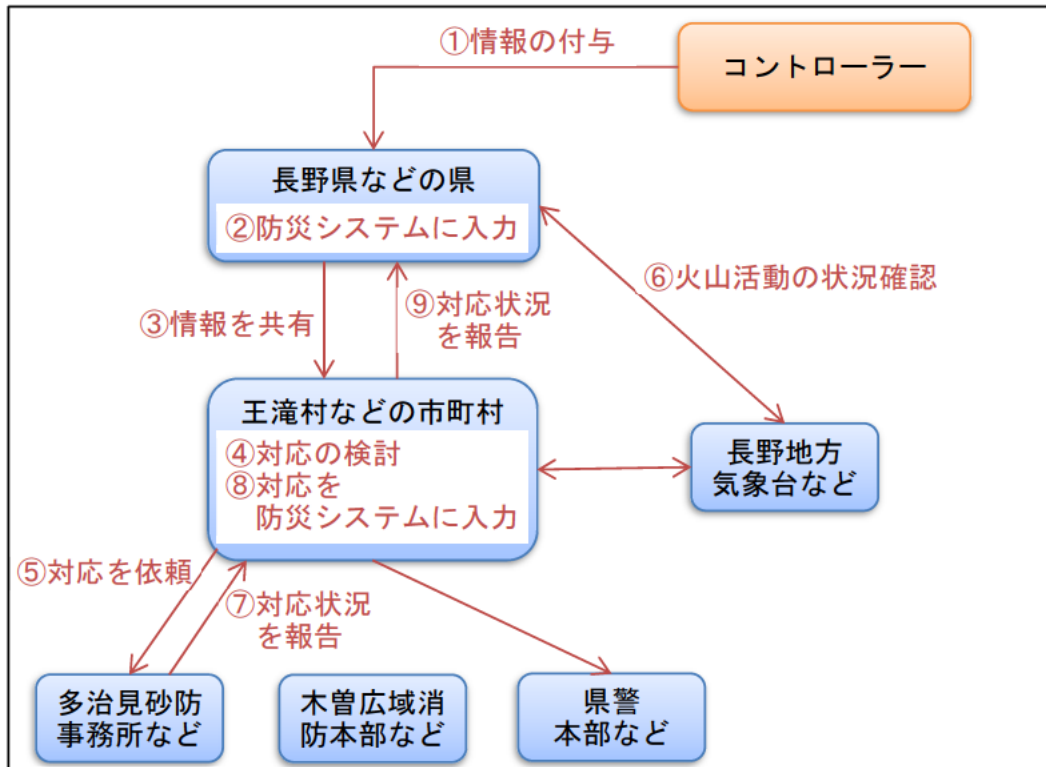
時間	内容
11:00～	開会、オリエンテーション
12:30～	訓練第1部、講評
14:35～	訓練第2部、講評
17:00	閉会

3. 訓練の想定

- 訓練は、第1部と第2部で異なる想定で行われた。
- 第1部では、条件が異なる2つにケースについて情報処理・対応の検討が行われた。
 - ケース①は、噴火警戒レベル1で登山道の立入規制は未実施、天気は晴れで登山客が1500人程度、昼前後の山頂付近には300人程度が滞在している状況。
 - ケース②では、噴火警戒レベル1で、登山道の立入規制は未実施、安全パトロール隊は活動中、剣ヶ峰にシェルターある。天気は晴れで、登山客は日に800人程度、昼前後には山頂付近に200人程度が滞在している。田の原に車70台、バス2台、ロープウェイに車50台、バス3台、中の湯登山口に車15台、開田口登山口に車1台いる状況。
- 第2部では、条件が異なる2つにケースについて情報処理・対応の検討が行われた。
 - ケース①は、噴火警戒レベル1で登山道の立入規制は未実施、天気は晴れで登山客が1500人程度、昼前後の山頂付近には300人程度が滞在している状況。
 - ケース②では、噴火警戒レベル1で、登山道の立入規制は未実施、安全パトロール隊は活動中、剣ヶ峰にシェルターある。天気は晴れで、登山客は日に800人程度、昼前後には山頂付近に200人程度が滞在している。田の原に車70台、バス2台、ロープウェイに車50台、バス3台、中の湯登山口に車15台、開田口登山口に車1台いる状況。

4. 訓練の方法

- 訓練は、コントローラーから電話による情報付与が行われ、情報が付与された機関は、防災情報システムに情報を入力し、関係機関に共有するとともに、対応について、検討し、必要な機関に対応を依頼する流れである。

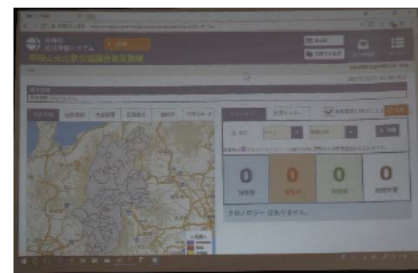


<情報の流れの一例>

5. 杉本委員の講評

① 第1部の講評

- 防災情報システムを初めて見た。
- 2014年の噴火の際、現場に駆け付けたが、まったく情報が入ってこない、共有されていない状況だった。このシステムを活用して、スムーズな情報共有が行われれば、もっと多くの対応ができたのではと感じている。
- 今回の訓練では、情報を入力するのに、重点が置かれているように感じた。情報を見てどう対応するかを検討がおろそかになっており、今後訓練を繰り返すことによって改善されると思う。



② 第2部の講評

- 2014年の噴火の際、王滝村の本部にいたが、捜索に入るかどうかの検討をするとき、情報が入ってこなかった。雲仙のときは、火山学者が、自衛隊が救助に入るのを止めた。2次災害を防止するためにも科学的な情報が必須である。
- 振興局が初動対応は大変になる。訓練を繰り返してスキルアップをしてほしい。
- また、雲仙では、年に2回山に登って登山道の確認などを行う防災登山を行っている。御嶽山では状況が異なるが、訓練以外にも組み合わせて効果を上げてほしい。



6. 訓練の様子

